



2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年2月14日

上場会社名 フリュー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6238 URL <https://www.furyu.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三嶋 隆
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部 本部長 (氏名) 笹沼 理成 TEL 03-5728-1761
 四半期報告書提出予定日 2022年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	25,801	—	3,583	—	3,584	—	2,487	—
2021年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 2,443百万円 (—%) 2021年3月期第3四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	90.93	—
2021年3月期第3四半期	—	—

当社は、2021年3月期第3四半期は非連結での業績を開示しておりましたが、2022年3月期第1四半期より連結業績を開示しております。そのため、2021年3月期第3四半期の連結経営成績（累計）及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	27,464	21,142	77.0
2021年3月期	—	—	—

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 21,142百万円 2021年3月期 一百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	36.00	36.00
2022年3月期	—	0.00	—	—	—
2022年3月期（予想）	—	—	—	37.00	37.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,000	—	3,900	—	3,900	—	2,700	—	98.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期3Q	28,296,000株	2021年3月期	28,296,000株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	935,766株	2021年3月期	935,731株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期3Q	27,360,243株	2021年3月期3Q	27,360,302株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社は現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

2021年4月1日付でオールドット株式会社を設立したため、第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しておりますので、前事業年度末及び前年同四半期との比較分析は行っておりません。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2021年4月1日～2021年12月31日)における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大を受け、各地での緊急事態宣言の再発令や、まん延防止等重点措置の適用により、社会経済活動が制限されるなど、厳しい状況が続きました。

足元では新たな変異株の出現による感染再拡大への懸念など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境において当社グループは、企業理念「人々のこころを豊かで幸せにする良質なエンタテインメントを創出する!」のもと、プリントシール事業の業績拡大、若年女性層の顧客基盤を活用したマネタイズの多様化、キャラクターIP(知的財産)を利用した商品販売に注力してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結業績は、売上高25,801百万円、営業利益3,583百万円、経常利益3,584百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,487百万円となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

(プリントシール事業)

プリントシール事業におきましては、感染拡大の第4波、第5波と厳しい市場環境が続く中、当第3四半期連結累計期間のプレイ回数は2,329万回(前第3四半期累計期間は2,131万回)となりました。また、6月に新機種「97%(キューナナパーセント)」、10月に「猫と彼女。」を発売しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は5,434百万円、営業損失は143百万円となりました。

(コンテンツ・メディア事業)

コンテンツ・メディア事業におきましては、プレイ回数が前年同期比で増加したため、プリントシール画像取得・閲覧サービス「ピクトリンク」の有料会員数も2021年9月末から増加し、2021年12月末では146万人となりました。

また、広告事業につきましては、案件数の増加に伴い、売上が増加しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は6,157百万円、営業利益は2,471百万円となりました。

(キャラクタ・マーチャンダイジング事業)

キャラクタ・マーチャンダイジング事業におきましては、人気漫画作品、人気アーティスト及び世界的人気ゲーム等の多数の新規キャラクター版権の獲得とその商品化を行い、クレーンゲーム景品、海外物販及び高価格帯ホビー商品の販売が好調に推移しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は11,790百万円、営業利益は2,355百万円となりました。

(ゲーム事業)

ゲーム事業における事業別の取り組みは、以下のとおりです。

家庭用ゲームソフト事業につきましては、「Caligula2(カリギュラツー)」「モナーク/Monark」を発売しました。

ゲームアプリ事業においては、9月末に新作タイトルの「恋愛戦国ロマネスク～影武者姫は運命をあやなす～」をリリースしました。

アニメ事業は、TVアニメ「ゆるキャン△ SEASON2」のビデオグラム販売や製作委員会の配分金収入等が牽引し、好調に推移しました。また、来期上映に向けて映画「ゆるキャン△」のプロモーションに取り組みました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,418百万円、営業利益は65百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産が27,464百万円、負債が6,322百万円、純資産は21,142百万円となりました。また、自己資本比率は77.0%となりました。

(資産)

資産につきましては、27,464百万円となりました。主な内訳は、現金及び預金13,555百万円、受取手形及び売掛金4,130百万円、棚卸資産2,350百万円、有形固定資産2,566百万円、投資その他の資産1,371百万円であります。

(負債)

負債につきましては、6,322百万円となりました。主な内訳は、買掛金917百万円、電子記録債務1,730百万円、流動負債「その他」に含まれる未払費用866百万円であります。

(純資産)

純資産につきましては、21,142百万円となりました。主な内訳は、資本金1,639百万円、資本剰余金1,639百万円、利益剰余金18,917百万円、自己株式1,000百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2021年8月12日に公表いたしました数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	13,555,993
受取手形及び売掛金	4,130,502
電子記録債権	1,277,438
棚卸資産	2,350,277
その他	1,686,579
貸倒引当金	△7,692
流動資産合計	22,993,097
固定資産	
有形固定資産	2,566,447
無形固定資産	532,956
投資その他の資産	
その他	1,392,006
貸倒引当金	△20,150
投資その他の資産合計	1,371,856
固定資産合計	4,471,260
資産合計	27,464,358
負債の部	
流動負債	
買掛金	917,528
電子記録債務	1,730,518
未払法人税等	810,876
その他	2,689,263
流動負債合計	6,148,186
固定負債	
退職給付に係る負債	166,614
その他	7,338
固定負債合計	173,953
負債合計	6,322,140
純資産の部	
株主資本	
資本金	1,639,216
資本剰余金	1,639,216
利益剰余金	18,917,281
自己株式	△1,000,385
株主資本合計	21,195,328
その他の包括利益累計額	
繰延ヘッジ損益	20,107
退職給付に係る調整累計額	△73,217
その他の包括利益累計額合計	△53,109
非支配株主持分	-
純資産合計	21,142,218
負債純資産合計	27,464,358

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	25,801,365
売上原価	13,185,395
売上総利益	12,615,969
販売費及び一般管理費	9,032,494
営業利益	3,583,474
営業外収益	
助成金収入	4,754
投資事業組合運用益	21,688
その他	605
営業外収益合計	27,047
営業外費用	
支払利息	98
為替差損	25,592
その他	3
営業外費用合計	25,694
経常利益	3,584,828
特別損失	
固定資産除売却損	3,130
特別損失合計	3,130
税金等調整前四半期純利益	3,581,697
法人税等	1,147,932
四半期純利益	2,433,765
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△53,970
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,487,736

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	2,433,765
その他の包括利益	
繰延ヘッジ損益	4,384
退職給付に係る調整額	5,668
その他の包括利益合計	10,053
四半期包括利益	2,443,818
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	2,497,789
非支配株主に係る四半期包括利益	△53,970

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、第1四半期連結会計期間において、オールドット株式会社を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。これにより、販売促進の一環として実施しているプリントシール中古筐体買い取り費用、クーポンや売上リポート等の顧客に支払われる対価については、従来、販売費及び一般管理費として処理する方法によっていましたが、取引価格から減額する方法に変更しております。返品権付の販売については、従来、売上総利益相当額に基づき返品調整引当金を計上していましたが、変動対価の定めに従って、収益の金額から控除するとともに、同額の返金負債を計上する方法に変更しております。ゲーム事業におけるアイテム等の販売に係る売上収益については、顧客によるアイテム等の利用期間を見積り、当該見積利用期間にわたって売上収益を認識しております。なお見積利用期間は概ね3か月としております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は321,822千円減少し、売上原価は201,768千円減少し、販売費及び一般管理費は94,529千円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ25,523千円減少しております。また、利益剰余金の当期首残高は26,824千円減少しております。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、この変更による当第3四半期連結会計期間及び当第3四半期連結累計期間の損益及び財政状態への影響はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				
	プリントシール 事業	コンテンツ・メ ディア事業	キャラクタ・マ ーチャンダイジ ング事業	ゲーム事業	計
売上高					
外部顧客への売上高	5,434,131	6,157,983	11,790,479	2,418,770	25,801,365
セグメント間の内部売上高又 は振替高	-	-	-	-	-
計	5,434,131	6,157,983	11,790,479	2,418,770	25,801,365
セグメント利益又は損失(△)	△143,088	2,471,543	2,355,894	65,247	4,749,596

	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高		
外部顧客への売上高	-	25,801,365
セグメント間の内部売上高又 は振替高	-	-
計	-	25,801,365
セグメント利益又は損失(△)	△1,166,121	3,583,474

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△1,166,121千円には、セグメント間取引1,800千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,167,921千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。